

アンサンブルコンテスト県北大大会に係る新型コロナウイルス感染防止マニュアル

- ◎ 本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、「福島県アンサンブルコンテスト実施のためのガイドライン」及び、観月台文化センターの「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」を基に開催しますので、下記の点について厳守してください。
- 健康状態把握や感染症発症時の対応のため、次の必要書類の作成・集約・提出等を行う。
 - 参加者が児童・生徒の場合、参加者は当該団体責任者へ参加承諾書を提出する。
 - 各団体責任者は、健康チェックシート（様式1）を作成し、大会当日に主催者に提出する。
 - 大会役員、業者、審査員は、健康チェックシート（様式2）を作成し、大会当日に主催者に提出する。
 - 健康チェックシートは大会終了2週間後に事務局で破棄する。
 - 学校関係の団体の責任者（部顧問）は、団团长（校長）に対し主催団体から配付される感染防止マニュアルなどを提示し、万々に備え、主催者名、連絡先などを伝える。
 - 大会開催日以前、1週間以内に新型コロナウイルス感染の疑いのある症状がある団員（部員）はがいた場合、団团长（校長）に参加についての可否の判断を仰ぎ、また、その旨を主催者（福島県吹奏楽連盟県北支部事務局）へ報告する。
 - バスで移動する場合、車内の密環境を避けるよう努める。保護者や家族による送迎が可能な場合は、それも選択肢の一つとする。
 - 参加者に陽性者や濃厚感染者が出た場合は、その本人が本事業に出場できないのは自明であるが、団体の出場については所属長の判断に委ねる。また当日に参加者の発熱や体調不良があった場合は、その団体の出場を認めない。
 - 大会当日は、会場への移動前に参加者の検温や体調を確認し、発熱等の症状がある者がいた場合、当該団体は参加を見合わせる。また、来場後に発熱などの急な体調変化が生じた場合も、参加を取りやめ速やかに退館すること。
 - 演奏以外の場面では、引率者・運搬補助員を含め、必ずマスクを着用する。
 - 参加者は、「マスク着用」「咳エチケット」「手洗い・手指消毒」を徹底する。また「三つの密」にならないよう、社会的距離の確保（利用者同士が手の届く範囲に長時間集まらないよう）を徹底するとともに、会話の抑制に努める。
 - 大会会場内では、水分補給以外の飲食は禁止とする。
 - 楽器運搬については、次のように留意する。
 - 楽器ケース置き場（大研修室）への入場は、必要最小限の人数にし、演奏終了後は速やかに退室する。
 - 打楽器の搬出入は、自団体で行う。なお、打楽器搬入のため、演奏者以外の運搬補助員を10名程度とする。
 - 団体間での楽器及びメンテナンス用品、チューナーなどの貸し借りは行わない。
 - 有観客での開催とする。運搬補助保護者（10名程度）は、自団体のセッティングが終了し次第、運搬補助員待機場所に移動し、演奏中は座席で鑑賞する。自団体の演奏が終了した後、速やかにステージに上がり楽器等の搬出を行う。
 - 鑑賞者は、出演者の保護者及び近親者とし、鑑賞は自団体の最初のチームから最後のチームの演奏までとする。
 - いす・譜面台は、会場および支部のものを使用する。ステージで演奏終了後のいす、譜面台の消毒は主催者に行うが、つば処理については、各団体で吸水シート（ペットシート等）を準備する。
 - 大会終了後、1週間以内に感染者が出た場合は、速やかに大会事務局に報告する。
 - アンサンブルコンテスト参加前後は、感染防止のため適切な行動を取ること。